



平成26年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月1日

上場会社名 株式会社メドレックス 上場取引所 東
 コード番号 4586 URL http://www.medrx.co.jp/
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)松村眞良
 問合せ先責任者 (役職名)経営管理部長 (氏名)北垣栄一 (TEL)03(3664)9630
 四半期報告書提出予定日 平成26年8月5日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有(機関投資家向け)

1. 平成26年12月期第2四半期の連結業績(平成26年1月1日~平成26年6月30日) (百万円未満切捨て)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第2四半期	21	46.9	△573	—	△578	—	△580	—
25年12月期第2四半期	46	—	△239	—	△243	—	△245	—

(注) 包括利益 26年12月期第2四半期 △576百万円(—%) 25年12月期第2四半期 △252百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第2四半期	△86.84	—
25年12月期第2四半期	△50.89	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年12月期第2四半期	4,077	3,931	96.3
25年12月期	4,729	4,502	95.2

(参考) 自己資本 26年12月期第2四半期 3,926百万円 25年12月期 4,502百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年12月期	—	0.00	—	—	—
26年12月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年12月期の連結業績予想(平成26年1月1日~平成26年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,068	1,557.4	13	—	42	—	38	—	5.73

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数（四半期累計）

26年12月期 2 Q	6,689,700株	25年12月期	6,689,700株
26年12月期 2 Q	— 株	25年12月期	— 株
26年12月期 2 Q	6,689,700株	25年12月期 2 Q	4,833,454株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

当社は、平成26年8月19日に機関投資家及びアナリスト向けの四半期決算説明会を開催する予定です。当日使用する決算説明資料は、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、景況感の先行き見通しは改善しているものの、消費税率引き上げによる需要の減退、原材料・エネルギー価格のさらなる上昇、欧州の経済状況や新興国の経済成長に対する不安要素のため、先行き不透明な状況のまま推移しました。

このような状況の中、当社グループではイオン液体を利用した独自の経皮製剤技術ILTS®(Ionic Liquid Transdermal System)を用いて、低分子から高分子に至る様々な有効成分の経皮吸収性を飛躍的に向上させることにより、新しい付加価値を持った医薬品を開発することを事業の中核に据え、当社グループの最重要パイプラインである消炎鎮痛貼付剤 ETOREAT®(エトドラクテープ剤)の製品化に向けた開発を推し進めるとともに、後続パイプラインの研究開発及び提携候補先の探索を行うなど、事業の拡大を図ってきました。また、当社の上市製品である褥瘡・皮膚潰瘍治療剤「ヨードコート軟膏」等の製品を提携先の製薬会社を通じて販売してきました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は21百万円(前年同期は46百万円)、研究開発費用とその他経費を合わせた販売費及び一般管理費は589百万円(前年同期は282百万円)を計上しました。営業損失は573百万円(前年同期は239百万円)、経常損失は578百万円(前年同期は243百万円)、四半期純損失は580百万円(前年同期は245百万円)となりました。

なお、当社は単一セグメントであるため、セグメントごとの記載はしていません。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度に比べて652百万円減少し、4,077百万円となりました。これは主に現金及び預金が658百万円減少したこと等によるものであります。流動資産は3,355百万円となりました。主な内容は、現金及び預金3,278百万円等であります。固定資産は721百万円で、主な内容は投資有価証券403百万円、建物及び構築物205百万円であります。

負債は、前連結会計年度末に比べて81百万円減少し、145百万円となりました。これは主に1年内返済予定の長期借入金の返済99百万円、未払金の増加13百万円等によるものであります。流動負債は61百万円となりました。主な内容は未払金43百万円等であります。固定負債は83百万円となりました。主な内容は持分法適用に伴う負債72百万円等であります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて571百万円減少し、3,931百万円となりました。これは主に四半期純損失580百万円等により利益剰余金のマイナスが580百万円拡大したこと等によるものであります。

以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の95.2%から96.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年12月期の連結業績予想につきましては、平成26年2月14日に公表した決算短信の数値に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは創薬ベンチャー企業です。

医薬品の研究開発には長期に及ぶ先行投資が必要であり、ベンチャー企業として医薬品の開発に取り組んでいるため、期間損益のマイナスが先行する結果となっております。

当四半期連結会計期間においても営業赤字が継続しているため、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況となっておりますが、平成25年2月13日に東京証券取引所マザーズ市場への上場に伴う資金調達及び平成25年9月3日に発行した行使価額修正条項付第6回新株予約権（第三者割当て）の行使による資金調達により、今後の研究開発活動を展開するための資金は確保できており、継続企業の前提に関する重要な不確実性はないと認識しております。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,937,145	3,278,537
売掛金	10,735	10,085
原材料及び貯蔵品	25,166	26,367
前渡金	15,016	12,460
未収入金	14,844	16,024
その他	4,907	12,213
流動資産合計	4,007,815	3,355,689
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	217,099	205,789
機械装置及び運搬具(純額)	13,038	10,878
工具、器具及び備品(純額)	25,492	31,381
建設仮勘定	237	—
有形固定資産合計	255,868	248,049
無形固定資産	1,240	3,162
投資その他の資産		
投資有価証券	398,580	403,990
長期前払費用	23,167	22,956
差入保証金	38,426	38,426
その他	4,853	4,865
投資その他の資産合計	465,027	470,239
固定資産合計	722,136	721,450
資産合計	4,729,951	4,077,140
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,229	2,125
1年内返済予定の長期借入金	99,000	—
未払金	29,595	43,278
未払法人税等	18,666	11,378
その他	7,233	4,929
流動負債合計	157,724	61,710
固定負債		
繰延税金負債	1,751	3,574
資産除去債務	7,997	8,080
持分法適用に伴う負債	59,744	72,056
固定負債合計	69,492	83,710
負債合計	227,217	145,421

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,560,062	4,560,062
資本剰余金	4,129,262	4,129,262
利益剰余金	△4,182,717	△4,763,672
株主資本合計	4,506,607	3,925,651
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,097	2,964
為替換算調整勘定	△2,776	△2,310
その他の包括利益累計額合計	△3,873	653
新株予約権	—	5,414
純資産合計	4,502,733	3,931,719
負債純資産合計	4,729,951	4,077,140

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)
売上高		
製品売上高	12,463	21,869
研究開発等収入	34,192	—
売上高合計	46,655	21,869
売上原価		
製品売上原価	3,431	6,029
売上原価合計	3,431	6,029
売上総利益	43,224	15,840
販売費及び一般管理費	282,708	589,275
営業損失(△)	△239,483	△573,434
営業外収益		
受取利息	181	556
受取賃貸料	1,142	1,141
為替差益	13,573	—
受取研究開発負担金	15,898	13,038
その他	3,453	174
営業外収益合計	34,249	14,911
営業外費用		
支払利息	3,880	—
為替差損	—	7,439
持分法による投資損失	16,101	12,311
株式交付費	11,942	—
株式公開費用	6,278	—
その他	286	275
営業外費用合計	38,488	20,026
経常損失(△)	△243,723	△578,550
税金等調整前四半期純損失(△)	△243,723	△578,550
法人税、住民税及び事業税	2,256	2,204
法人税等調整額	△25	200
法人税等合計	2,231	2,404
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△245,954	△580,955
四半期純損失(△)	△245,954	△580,955

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△245,954	△580,955
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6,029	4,061
為替換算調整勘定	△593	465
その他の包括利益合計	△6,623	4,527
四半期包括利益	△252,578	△576,428
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△252,578	△576,428

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△243,723	△578,550
減価償却費	10,260	20,887
株式報酬費用	—	5,414
受取利息及び受取配当金	△181	△556
支払利息	3,880	—
為替差損益(△は益)	△11,493	7,669
持分法による投資損益(△は益)	16,101	12,311
売上債権の増減額(△は増加)	△20,678	649
たな卸資産の増減額(△は増加)	△8,602	△1,201
前渡金の増減額(△は増加)	—	2,555
未収入金の増減額(△は増加)	2,010	△1,180
長期前払費用の増減額(△は増加)	176	211
仕入債務の増減額(△は減少)	△4,869	△1,104
未払金の増減額(△は減少)	△204	13,682
その他	△2,271	△15,506
小計	△259,596	△534,717
利息及び配当金の受取額	181	556
利息の支払額	△3,880	—
法人税等の支払額	△3,472	△3,253
営業活動によるキャッシュ・フロー	△266,766	△537,414
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,636	△12,751
無形固定資産の取得による支出	△1,404	△2,210
投資有価証券の取得による支出	△400,000	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△403,040	△14,961
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△4,998	△99,000
株式の発行による収入	2,347,564	—
新株予約権の行使による株式の発行による収入	79,060	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,421,626	△99,000
現金及び現金同等物に係る換算差額	10,791	△7,231
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,762,610	△658,607
現金及び現金同等物の期首残高	165,379	3,937,145
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,927,989	3,278,537

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは医薬品製剤開発及びこれらの付帯業務の単一事業であるため、記載を省略しております。